

こうち+クロス

高知赤十字病院広報誌

2019.11
vol.55

ご自由にお持ち帰りください



「皇帝ダリア」

皇帝ダリアは、日が短くならないと花芽ができませんので、開花期が遅く11月下旬から咲き出します。(中略)よく成長すると5~6mにも達し、2階の窓から花を楽しめるようになりますが、草丈を高くしたくない場合は、何回か切り戻して高さを調整できます。

文(抜粋)/写真引用元:みんなの趣味の園芸/写真AC

高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

受診される皆様へ

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

- 平等かつ適切な医療を受ける権利
- 個人の人権が尊重される権利
- プライバシーが保障される権利
- セカンドオピニオンを受ける権利
- 医療上の情報及び説明を受ける権利
- 医療行為を選択する権利

私たちからのお願い

- ご自身の健康に関する詳細な情報を医師をはじめとする医療提供者にお知らせください。
- 治療や検査等は、理解し、納得したうえでお受けください。分からないこと等は、ご遠慮なく医師をはじめとする医療提供者にお問い合わせください。
- 病院内では他人の迷惑にならないようお願いいたします。
- 暴言・暴力行為があった場合、診療をお断りすることがあります。
- 医療費の支払い請求には、速やかな対応をお願いいたします。
- その他、より快適な入院生活をお過ごしいただくために、病院内の約束事についてはご協力をお願いいたします。

10.26 (土) ~ 10.27 (日)

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2019 in 高知

10月26日(土)、27日(日)に高知大学医学部グラウンドにて、リレー・フォー・ライフ・ジャパン高知2019が開催されました。リレー・フォー・ライフは、がん患者さんやご家族、その支援者らが会場を24時間にわたり交代で歩くチャリティーイベントです。地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指し、がんで悩むことのない社会の実現を参加者全員で願います。世界各地、日本全国各地で行われ、高知県では12回目の開催となります。高知赤十字病院はがん診療連携推進病院として継続してこのイベントに参加しており、今年度も職員、家族ら70名を超える参加者が集いました。

26日、12時のオープニングセレモニーを皮切りに、参加者たちは思い思いのペースで歩き始め、他の参加者と話したり、コースに沿って並べられたルミネリエバッグを見ながら、24時間後のゴールを目指します。

前日までの雨でぬかるんでいたグラウンドも参加者たちの力強い歩みで踏み固められ、各チームが順番につなぐシンボルたすきを私たちが掛けて歩く頃には、穏やかな日差しの下で気持ちよく歩くことができました。

ステージでは合唱やバンド演奏が行われ、会場を盛り上げ、参加者たちの歩みを後押しします。他にもサバイバーブースではがんに関する講演なども行われており、サバイバーの方々の思いを近くで感じられるようなイベントになっていました。

日が沈む頃にはルミネリエが灯りはじめ、参加者はグラウンド中央の「HOPE」の文字を囲むように歩きます。コース沿いに並べられたルミネリエの灯りと合わせて、グラウンド全体が温かな光に包まれ、日中とはまた違った景色や想いで歩くことができるのもこのイベントの魅力であると感じました。

がんと闘う人、大切な人をがんで失った人、がん診療に携わる人など、イベントへの関わり方や思いは人それぞれですが、お互いを理解し合い、このたすきのように、立場や職種を越えて想いをつないでいくことで、がんで悩むことのない社会の実現に一步でも近づけるようにと願って止みません。

今後もこのイベントが続いていくことで、がんに対する知識やがん患者さんへの理解、支援の輪が大きく広がると共に、自分や自分を支えてくれる人達のことを大切に思えるきっかけになればいいなと思います。

また来年、僕は歩いています。良ければみなさんも、一緒に歩きませんか。

医療事業・広報課 松岡 恭平



新病院 TOPICS

救命救急センターの機能強化

新病院の救命救急センターは、旧病院の約 1.3 倍となる十分な広さを確保し、初療室※は 2 室を整備（旧病院では 1 室）、多発外傷などの重症患者の緊急処置、手術にも対応できる設備に生まれ変わるとともに、屋上ヘリポートと直結のエレベーターを完備し、地上のみならず上空からの緊急搬送に対しても迅速かつスムーズに対応します。

また、救急搬送患者入口と時間外の救急外来受診患者入口を別々にすることでプライバシーにも配慮し、導線が分離されたことで、それぞれに機能的な診療が可能になりました。

その他、従来のドクターカーに加えて、病院前診療の充実のため、機動性の高いラピッドレスポンスカー（D-CROSS）を配備しました。これにより、医師・看護師を迅速に現場に派遣することが可能になり、重症患者さんに対していち早く診療を開始できます。

さらに、隣接する高知北消防署の救急隊が院内実習を行いつつ、緊急時には、当院の医師、看護師と共に出動する「ワークステーション方式」を開始しました。

今後もさらなる連携を深め、県民の安心安全に貢献していきます。

※救急搬送患者さんが最初に運びこまれ、初期診療を受ける部屋のこと

｜ 初療室



｜ 屋上ヘリポート



｜ ラピッドレスポンスカー（D-CROSS）



｜ 救急ワークステーション



救命救急センター理念

24 時間 365 日、平時及び災害時の救急医療に対応する。

一次から三次までの救急医療に対応する。

保有する医療資源を最大限活用して医療を提供する。



ちゅと※
聞いてみて!※ちゅと…
土佐弁で「ちょっと」という意味。

■ひきこもり地域支援センター (ひきこもりの相談窓口) をご存知ですか?

「ひきこもり支援センター」は、ひきこもりに特化した相談窓口です。
本人・家族からの相談に応じ、適切な関係機関へつなぐなど「地域の第一次相談窓口」を担ったり、社会参加、自立への支援、普及・啓発活動など行っています。

ひきこもりとは…

病気や障害の名前ではありません。
さまざまな要因の結果、就学・就労などの社会参加を回避し、原則として
6か月以上にわたって、家庭にとどまり続けている状態のことを言います。

▶ 窓 口

高知県精神保健福祉センター内ひきこもり地域支援センター

▶ 相談方法

電話または来所 (来所は原則予約制)

電 話 : 088-821-4508

開所日 : 月～金 午前 8:30～午後 5:15 (土・日、祝日除く)



当院、医療相談室(2階)でも
対応しますので、お気軽にご
相談下さい。

医療相談室支援室

知って安心、つながる医療。何かあれば“ちゅと寄って”ください。

監修 : 社会福祉士 谷内 光代

おすすめお手軽レシピ

ささみのキムチチーズ焼き

■材料(1人分)

ささみ… 50g(1本)
塩コショウ… 少々
キムチ… 15g
チーズ… 6g
黒胡椒… お好みで

■栄養成分: 1人分

エネルギー 85kcal
たんぱく質 13.4g
塩分 0.6g



作り方

- 1 ささみは筋を取り、アルミホイルに乗せて塩コショウをする。
- 2 1のささみの上にキムチ、チーズの順に乗せる。
- 3 トースターで10分ほど火が通るまで焼く。
- 4 皿に盛り、お好みで黒胡椒をふる。

ささみの筋を取って材料を乗せ、トースターで焼くだけで簡単に作れます。
チーズの表面を焦がすと香ばしくて食欲をそそります。お好みでマヨネーズ
をかけて焼いても美味しいですよ♪ 添えにブロッコリーやトマトなどを加え
ると彩が良くなり見た目も綺麗に仕上がります。



低カロリー、
高タンパク質の
「ささみ」を使った
一品です!

皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております。
本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。
(088-822-1201 (代表))

